

編集後記

『語研紀要』第36巻1号をお届けいたします。大学が厳しい状況に置かれていると言われている昨今、また、昨年からの学生の就職状況悪化の中で、我々は学生の学士力向上のためにますます教育に力を注がねばなりません。このような状況下で、教育と研究の両立をしていくことはなかなか骨の折れることだと存じます。しかし、研究に対する熱意や恒常的な探究心がある限り、教育の場で自分の専門分野に直接関係なくても、それらが学生に自然と伝わるものと信じております。

今回、論文8編、翻訳1編の玉稿をお寄せ頂きました。ご寄稿頂きました先生方に、編集委員として厚く御礼申し上げます。

最後に、本号の論考が、所員の皆様だけでなく、他の分野の研究者、さらには教育の発展のためにお役に立てば幸いです。

(石川 一久 記)